



2022年度

事業計画書

神戸YWCA

2022年度 神戸YWCA事業・活動計画

第33回総会期 日本YWCA全国会員総会決議

主題聖句 平和を実現する人々は幸いである
(マタイによる福音書5章9節)

ビジョン

女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切に作る社会

ミッション

若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

バリュー

1. キリスト教基盤
すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣って行動します。
2. 平和・環境
アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。
すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。
3. 人権
人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。
4. セーフスペース
会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

神戸YWCAビジョン

一人ひとりが大切にされる社会

神戸YWCA 2022年度活動目標

つながりの意味を深め、共に動こう

2022年度 神戸YWCA事業・活動計画

I 平和と人権事業（「平和と人権センター」所管）

「人権を擁護し、非暴力による平和な社会の実現を目指す事業」「青少年の人間性を涵養し、生涯学習を推進し、より良い社会の形成に資する人材を養成する事業」を中心となり実施していく。

■世界・社会委員会

【活動方針・活動目標】

人権、非核、政治、経済、憲法、居住、ジェンダー、メディアリテラシー、地方自治、民主主義、働き方などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

【活動計画】

①日本市民社会の民主主義を見直す～日本の「民主」社会は外国人とどう生きているのか

目的：外国人と共に生きる、より良い日本の姿を考える。

年間目標：在日韓国人や在住外国人に関する法や制度を知り、問題を明らかにする。

内容：日本社会での身近な問題に関心を持った高校生とプログラムを企画していく。

実施頻度（回数）：勉強会隔月1回くらい、講演会も開催

■環境・くらし委員会

【活動方針・活動目標】

SDGs（持続可能な開発目標）、原発、温室効果ガス、ゴミ問題、プラスチック、農業、哲学カフェ、生と死、ローカルコミュニティ、防災、DIY、おひとりさまなどをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

【活動計画】

①QOL向上プロジェクト

目的：防災について学びくらしに活かす。

内容：・防災センターなどの現地見学や体験学習、防災ワークショップなどを通して防災意識を高め、日常生活に活かすヒントを得る。
・オンラインと対面学習を組み合わせる。

対象者：一般、会員、会友

実施日時など：7～10月

実施頻度（回数）：3回くらいのシリーズ

実施場所：神戸YWCA会館、現地

②神福のはしごプロジェクト

目的：セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA地域連携委員会の活動方針に沿って今年度も実施する。コロナ禍により、リフレッシュプログラム（保養）に参加する家族が激減している。刻々と変化する状況を見据えながら、これまでのつながりを活かし、互いに励ましあう関係を深めたい。そして、神戸と福島の新たな関係づくりにつなげていく。

a)セカンドハウス・プログラム

目的：放射能被災下に生活する家族の一時保養

内容：・日本YWCAとの協働事業

- ・神戸YWCA関係者から家屋を一定期間貸し出してもらい、保養に用いる。（利用者には交通費の一部を支援。水道光熱費や家賃は無料）
- ・利用家族との交流を通して、福島の現状を学ぶ。

対象者：福島県をはじめ近隣県の放射能被災下に生活する家族および単身女性

実施頻度（回数）：申し込みがあり次第随時

実施場所：兵庫県内

b)はしごプロジェクト

目的：共に生きる仲間として、福島の声から学び続ける。

内容：オンラインによる福島と神戸をつなぐ勉強会、お話し会など

対象者：会員、会友、一般

実施頻度：随時

■ユース・エンパワメント委員会

【活動方針・活動目標】

多世代協働、多世代エンパワメント、音楽、芸術、体験的教育、演劇などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

【実施プロジェクト】

①旅人ユースプロジェクト

目的：ユースが各チームやグループにボランティアとして関わることを通じて、その現場の魅力や課題に触れる。そうした出会いの場づくりを行うことで、ユース・ミドル・シニアの対話を促進し、神戸YWCAが問い直し続けられる組織となることを目指す。長期的な目標としては、神戸YWCAにおいて、ユースが企画運営を担うためのサポートを実施したい。

a) 定例ミーティング

目的：活動方針・目標を達成するための議論と決定

内容：・ボランティア参加するプログラムの調整

・広報活動の戦略づくり

・LA等を利用した、他市YWCAや他団体との協働の可能性を探る。

対象者：プロジェクトメンバー

実施日時など：随時

実施頻度（回数）：6回程度／年

実施場所：オンライン開催

b) ボランティアプログラム

目的：ユースが神戸YWCAの活動に参加するための仕組みづくり

内容：・各プロジェクトやグループのプログラムにボランティアとして参加

・プログラムふりかえりの場づくり

対象者：ユース

実施日時など：随時

実施頻度（回数）：2回／年

実施場所：神戸YWCA会館ほか、プログラム内容に応じる。

②こどもいいんかいプロジェクト

目的：子どもの「やりたい」を、形・プロジェクトにする。思い描いたプロジェクトを遂行するためには何が必要かを自ら考え行動をする。子どもは問題提起と解決方法の力をつけ、次世代を担う力をつける。おとなは子どもからの発信に刺激を受け協働できる関係を目指したい。

目標：神戸YWCAの様々な大人（会員、まごの手や保育園、日本語教育のスタッフなど）との接点を作っていく。

内容：・アナログゲーム大会をベースに、大人と子どもが一緒にできることを探す。

・日本YWCA主催「地域Yバーチャル訪問」（2023年2月）へ向けて、運営委員会と「こどもいいんかい」が共同で企画を検討中。

実施頻度：土曜日、あるいは長期休暇を中心に実施

■会員委員会

【活動方針・活動目標】

神戸YWCA 会員の親睦のために活動する。

【活動計画】

①誕生日カードプロジェクト

目的：神戸YWCAの全会員、会友に神戸YWCAからの親睦のメッセージを届ける。

内容：誕生日カード、グリーティングカードなどの発送

対象者：会員、会友

実施日時：随時

②思いをつなぐ会の記念誌づくり

目的：神戸YWCAに関わった会員たちの思いを次世代へつなげる。

内容:ここまで2回実施した「思いをつなぐ会」の講演を冊子にまとめる。

グループ

■愛農人倶楽部

【活動方針・活動目標】

野菜作りを参加者で楽しみ、交流を楽しみ、野菜作りを通じて色々な事を学ぶ

【活動計画】

農作業体験（定例会）

目的：農作業体験を通じて野菜の成長、収穫、食べる、参加者との交流、地域の方との交流を楽しむ。

内容：4月 ジャガイモ追肥、5月 イチゴ収穫、夏野菜植え付け、6月 ジャガイモ収穫、さつまいも植付け、
7月 夏野菜の世話、8月 雑草刈り、夏野菜の世話、9月 大根、蕪種まき、ブロッコリー苗植付け、
10月 さつまいも収穫、大根間引き、11月 玉葱植付け、豆類種まき、大根追肥、12月大根収穫、
1月 大根収穫、2月 玉ねぎ追肥、3月 ジャガイモ植付け

対象者：大人、子ども

実施日時：通年

実施頻度（回数）：12～15回／年

実施場所：神戸市道場 風キャビン農園

■声の奉仕

【活動方針・活動目標】

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行う。技術向上のため月1回講師による朗読の学習、指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送。

【活動計画】

①例会／連絡会

目的：声の奉仕グループの運営

内容：日赤運営委員会報告、声の奉仕運営に関する話し合い、担当するCD 出版物の内容決定など

対象者：メンバー

実施日時など：8月以外の毎月第4火曜日

実施頻度（回数）：11回

実施場所：神戸YWCA会館

備考：メンバー12名でスタート予定

②例会／朗読勉強会

目的：朗読技術などの向上

内容：実際に朗読し講師の指導を受ける

対象者：メンバー

実施日時など：8月以外の毎月第4火曜日

実施頻度（回数）：11回

実施場所：神戸YWCA会館

③発声練習、‘つちのこ’企画など

目的：‘つちのこ’の企画、制作など

内容：・発声練習

・年1回担当の‘つちのこ’の企画、制作など

・単行図書の提案など

対象者：メンバー有志

実施日時など：適宜

実施頻度（回数）：10回

実施場所：日赤兵庫県支部

④録音、編集

目的：録音、編集

内容：神戸YWCAが担当が担当する「PHP」の録音、「花時計」・‘つちのこ’の録音・編集、「PHP」全体の編集

対象者：担当メンバー

実施日時など：適宜
実施頻度（回数）：適宜
実施場所：日赤兵庫県支部、各自宅

■讃美歌を歌おうかい

【活動方針・活動目標】

讃美歌に親しみ楽しく歌うことを目標にする。

【活動計画】

目的：讃美歌を歌う。
内容：讃美歌Ⅱ編および讃美歌21より歌う。
対象者：会員、会友、一般
実施日時：第1木曜日15時～16時
実施頻度（回数）：11回／年（8月を除く）
実施場所：神戸YWCA会館

■聖書を読む会

【活動方針・活動目標】

聖書を読み、イエス・キリストの生き方に学び、日々の生活に少しでも活かせるように努める。

【活動計画】

目的：聖書をより深く読む。
内容：イエスの愛と平和を学ぶ。
対象者：会員、会友、一般
実施日時：第1木曜日13時30分～15時
実施頻度（回数）：11回／年（8月を除く）
実施場所：神戸YWCA会館

■ジェンダーグループ

【活動方針・活動目標】

誰にでもある、ジェンダーへの疑問や思いを肩ひじ張らずに素直に語り合い、学べるような活動につなげたいと考えている。その過程を通じ、自分への気づきから始まり、さまざまな機会が性別の有り様にかかわらず平等に与えられ、共に支え合って生きていける社会づくりを目指す。

【活動計画】

①ミーティング

目的：ジェンダーに関する活動を進める。
内容：グループ運営など
対象者：メンバー
実施日時など：未定
実施頻度（回数）：1回／月
実施場所：ほぼオンライン

②感想シェア会

目的：ジェンダー問題について学ぶ。
内容：映画に関し、感想を共有する。
対象者：メンバー、一般
実施日時など：未定
実施頻度（回数）：2回／年
実施場所：オンライン

③シンポジウム

目的：ジェンダーに関する課題について学び考える。
内容：ジェンダーに関する課題
対象者：一般
実施日時など：未定
実施頻度（回数）：1回～2回／年

実施場所：未定

■ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

【活動方針・活動目標】

- ・他団体、グループと橋をつなぎ、協力して平和構築活動を進める。
- ・講演会や学習会などを行ない、学び、語り合う。

【活動計画】

- ・メンバーミーティング（年3回ほど不定期に、喫茶店で行う）
- ・テーマがピース・ブリッジの目標と合う場合、「非核の政府を求める兵庫の会」の市民学習会に協賛、協力する。

①学び 語り合い つながる会

目的：学びを深めて、平和への思いを共有する。

内容：テーマを設定して講師に80分ほど語っていただき、その後参加者で語り合う。

対象者：一般

実施日時など：土曜日（14時～16時30分）

実施頻度：4回／年

実施場所：喫茶「エスポワール」

②ピース・ブリッジだより

目的：コロナ禍などで対面のプログラムができない場合、平和への思いを発信する。

内容：時宜を得たテーマを設定する。

対象者：一般

実施頻度：年1回程度

■文学講座

【活動方針・活動目標】

清少納言の「枕草子」を読み継ぐ。

【活動計画】

目的：文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。

内容：清少納言の「枕草子」をメンバーで読む。

対象者：会員、会友、一般

実施日時：第3火曜日13時30分～15時30分

実施頻度（回数）：11回／年（8月は除く）

実施場所：神戸YWCA会館

■平和活動グループ

【活動方針・活動目標】

- ・非核・非暴力の平和な社会を求める。
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるようなプログラムを進める。
- ・平和憲法を守る活動を継続する。

【活動計画】

①定例ミーティング

目的：平和活動の具体的推進とメンバー相互の交流

内容：平和活動の実施にあたり、プログラム作成と、活動に伴う問題・課題をメンバー間の自由な意見交換を通して解決し、合意する。

対象者：グループメンバー

実施日時など：木曜日15時

実施頻度（回数）：10回／年

実施場所：神戸YWCA会館

②学習会（持ち寄り勉強会）

目的：平和に関する知識を深め、視野を広げ、互いに啓発することで、平和活動の糧にする。

内容：メンバーが関心のあるテーマを持ち寄り、学び合う。

対象者：グループメンバー及び一般
実施日時など：未定
実施頻度（回数）：2回／年
実施場所：神戸YWCA会館
備考：テーマは1年を通してジェンダーを考えている。

③参議院選挙に向けての行動

目的：選挙に向けて、人々に関心をもってもらう。

内容：「選挙に行こう」キャンペーン

対象者：一般

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：未定

④市民デモ HYOGO 平和集会

目的：市民デモ HYOGO のメンバーとして毎年参加

内容：未定

対象者：メンバー、一般

実施日時など：5月3日、11月3日

実施頻度（回数）：2回／年

実施場所：未定

⑤憲法出前プログラム

目的：憲法について考えたことのない人たちを中心に、憲法や立憲主義について考えてもらう機会を提供する。

内容：対象者に合わせた最近の社会問題を切り口に、憲法が生活と深く関わっていることを実感してもらい、同時に紙芝居を通して立憲主義を学ぶ。必要に応じて、改憲の動きと草案を紹介する。

対象者：若い世代を中心に一般

実施日時など：コロナが収束してから

実施頻度（回数）：3回／年

実施場所：出前先（学校など）

■マザースカレッジ企画会

【活動方針・活動目標】

- ・一人ひとりがよりよく生きるために、子ども、大人が本と出会うことを支援する。
- ・「ことばの力」「ひとが生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会を実施する。
- ・参加メンバーがそれぞれの場でリーダーシップを発揮できるように支援する。

【活動計画】

①ストーリーテリング研究会（大月先生）

目的：ストーリーテリングを通し、子ども、大人が本と出会うことを支援する。

内容：ストーリーテリング、児童文学、絵本、詩の研究

対象者：図書ボランティア

実施日時など：第4金曜日

実施頻度（回数）：7回／年

実施場所：神戸市青少年会館

②ストーリーテリング研究会（芦田先生）

目的：ストーリーテリングを通し、子ども、大人が本と出会うことを支援する。

内容：ストーリーテリング、児童文学、絵本、詩の研究

対象者：図書ボランティア

実施日時など：第4月曜日

実施頻度（回数）：6回／年

実施場所：兵庫県民会館交流プラザ

③真生塾

目的：児童養護施設の子どもたちにおはなしや絵本を届ける。

内容：ストーリーテリング、読み聞かせ

対象者：4～5歳の幼児

実施日時など：第3日曜日

実施頻度（回数）：10回／年
実施場所：真生塾
備考：担当者は1～2人。現在休止中。状況により再開。

■夜回り準備会

【活動方針・活動目標】

神戸市東部の夜回りを昨年度に引き続いて実施し、追加的な支援が必要となった場合には他団体につなぐ。その場合でも、その後つないだ他団体と協働しながらやり取りを行なっていくことは必要かつ可能な範囲で行う。このような夜回りを実現するために、神戸YWCA本館の拠点化およびタイムズカーの使用を進めていく。

【活動計画】

①夜回り

目的：対等な関係を築き、常に、関係を問い直し、対象者が、解決したいことを抱えており、ご本人の意思決定が明確であり、夜回りが関わっていいならば、ご本人の意向を丁寧に聞き取り、自分たちのできる関わりの見定めをし、同意をとって協働すること。

内容：話を聞き、交流し、必要なこと可能なことをする。

対象者：神戸市東部エリア（灘区、東灘区）で野宿している人

実施日時など：毎月第2・4土曜日 夜

実施頻度（回数）：24回／年

実施場所：野宿している人のいる場所

②ミーティングと事務活動

目的：団体が一体となって活動するための報告と相談、意思決定を充実させること

内容：定例ミーティングと「方向性会」2つのミーティング。メンバー管理（ケア・支えあい）。神戸YWCAとの協働。広報活動。その他事務遂行。

対象者：夜回り準備会メンバー

実施日時など：第3土曜日（定例ミーティング）

実施頻度（回数）：1回／月（定例ミーティング）

実施場所：神戸YWCA会館およびオンライン会議

■わいわい科学クラブ

休会中

■アフタヌーン・ティー

休会中

■現代史勉強会いもづる

休会中

II 総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）

「支援を要する人々を援助し、地域の福祉を向上させる事業」を中心となり実施していく。

■神戸YWCAまごの手

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、居宅介護支援（ケアマネジメント）や訪問介護（身体介護、生活援助）等のサービスを行う。また、子育て中の家族を支援するために、家事援助や育児支援を行う。居宅介護支援事業や訪問介護事業とも連携をはかりつつ住宅確保要配慮者に対する居住支援事業を行う。

- ・神戸YWCA総合サポートセンター（仮称）の他の地域福祉活動と連携する。
- ・地域包括ケアの実現を目指して、神戸YWCAの地域福祉活動、医療機関や行政、社会福祉協会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所等と連携を強化する。

- ・利用者一人ひとりに寄り添い、切れ目のない支援を提供する。
- ・よりよいサービス提供に繋がるよう、事業所体制を整え、研修を充実させる。
- ・次代を担う人材を確保し、育成する。

【事業計画】

①居宅介護支援事業

目的：介護保険に関する相談、申請の代行、ケアプランの作成など、介護保険サービス利用の支援を行う。

- 内容：・介護保険法に規定する居宅介護支援
・介護保険法に規定する介護予防支援（委託）

②訪問介護事業

目的：支援を要する方々に対して、居宅等を訪問して、身体介護、育児支援、生活援助、家事援助などのサービス提供を行う。

- 内容：・介護保険法に規定する訪問介護
・介護保険法に規定する介護予防訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
・介護保険法に規定する生活支援訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
・障害者総合支援法に規定する居宅介護
・障害者総合支援法に規定する同行援護
・障害者総合支援法に規定する移動支援（神戸市地域生活支援事業）
・産前産後ホームヘルプサービス（神戸市養育支援訪問事業）
・養育支援ホームヘルプサービス（神戸市養育支援訪問事業）
・ほっとヘルパーサービス（神戸市認知症高齢者訪問支援員派遣事業）
・まごの手はあと（自費サービス）

- その他：・研修、人材養成
・職員、ヘルパー向け研修（月1回実施）
・職員会議

③居住支援事業

目的：誰もが地域の中で自分らしい暮らしを安心して続けることができるように、地域包括ケアを推進する中で、人々の暮らしの基盤となる住まいについて、支援を要する方に対して、その確保から、安心して住み続けるための支援、退去時までの支援を行う。

- 内容：・家賃債務の保証
・円滑な入居の促進に関する援助（相談窓口の設置、専門相談の実施、不動産店への同行、契約等の支援）
・生活の安定及び向上に関する援助（生活相談窓口の設置、見守り・生活支援サービス、交流拠点の活用）
・居住支援協議会との連携
・その他の居住支援に資する取り組み（地域の居住支援ネットワーク形成、居住支援事業の中長期的な持続性に配慮した取り組み）

対象とする区域：神戸市中央区、灘区、兵庫区

④生活支援わいわい

目的：神戸YWCAの理念に基づき、お互いの支え合いで気持ちの良い、心豊かな暮らしが過ごせる地域づくりを目指し、生活支援サービス活動を行う。

- ・2022年度上半期は試行期間として、サービス対象をYWCA会員・会友・まごの手利用者、元分室利用者、居住支援対象者など神戸YWCA関係者に限って、活動する。
- ・利用者のニーズに応えられるサービス提供を目指す。
- ・サービス提供者の研修・交流を充実させる。
- ・メンバー（サービスを受ける人・提供する人・活動を支援する人）の拡大に努める。

内容：a)生活支援サービス

目的：利用者の生活上のニーズに応えるサービスを提供する。

内容：介護保険では届かない生活の中での小さな困りごと（草取り、部屋の整理整頓、掃除など）を解決する。

対象者：生活支援わいわいメンバー

実施日時など：適時

実施頻度（回数）：適時

実施場所：利用者宅、他

b)生活支援わいわい運営委員会

目的：グループ運営を順調に進める。

内容：活動の現状把握と発展・問題解決のための協議
対象者：生活支援運営委員
実施日時など：適時
実施頻度（回数）：10回程度／年
実施場所：神戸YWCA会館あるいはオンライン
c) サービス提供者実務ミーティング
目的：サービス活動を順調に進める。
内容：サービス提供者間の交流と研修
対象者：サービス提供者、生活支援わいわい運営委員
実施日時など：適時
実施頻度（回数）：4回程度／年
実施場所：神戸YWCA会館
備考：外部講師による研修会を1回は開催する。

■神戸YWCA保育園

【事業方針・事業目標】

- ・子どもも大人も安心して心穏やかに過ごせる場所になる。
- ・子どもの意思を尊重した保育を行う。

【具体的活動】

- ・毎日の子どもの生活を大切にする（子どもが自分のしたいことを自分が納得するまで行う。その時間を保障する。）
- ・家族の方がほっとする受け入れと送り出し
- ・親子で楽しむ会は、親子で様々なことにチャレンジする年とする。

【事業計画】

保育理念：キリスト教精神のもとに一人ひとりの身体と心に寄り添い、いのちを大切にする保育を目指す。

保育方針：・少人数で家庭的な環境で個性を大切にしつつ、生活習慣の基礎を身に着ける。

- ・温かいふれあいや遊びを通して、豊かな情操を養う。
- ・人との関わりや絆（愛・信頼）の基礎を培う。

開所日時：月曜日～土曜日 標準時間7時30分～18時30分 短時間8時30分～16時30分（延長保育あり）

利用者：生後6カ月～3歳未満児

定員：12人（ただし変動する場合有）

保育内容：・年齢、月齢にとらわれず、個々の子どもの成長に合わせた保育を行う。
・散歩や近所の公園で、楽しみながらできる遊びでしなやかな体をつくる。
・強い刺激ではなく優しい語りや歌、繰り返し読む絵本を大切にする。
・季節感、自然を取り入れた遊びで心を動かす体験を重ねる。
・子どもと共に祈る（毎日の祈りと讃美歌）。
・季節やキリスト教の行事を大切にする。

職員体制：園長、保育士（常勤2、パート5）、管理栄養士、調理師

その他：・避難訓練（1回／月）、救急訓練の実施（1回／2カ月）

- ・近隣の小規模保育園や連携園との交流
- ・近隣の方々、地域とのつながり（花の日、地域行事参加）
- ・保育の質向上のため、自己評価制度を取り入れ、振り返りを行う。
- ・園内研修の実施

神戸YWCAつどい場

■カフェもぐもぐ

【活動方針・活動目標】

コミュニティーカフェの役割として以下のことを行う。

- ・当事者の声を聞きながら活動を進めていく。
- ・若年性認知症についての啓発活動を行う。
- ・仲間を増やす

【活動計画】

①カフェもぐもぐ定例会

- 目的：・若年性認知症の人や家族、仲間たちがほっとしてつながる場となる。
・若年性認知症の人が集い、生きがいを持って働く事ができる場をつくる。

- 内容：・(午前) カフェでの食事づくりと昼食
・(午後) 交流の時、その他
・外出プログラム (年数回)
・交流と学びのためゲストを招待 (年数回)

対象者：若年性認知症の人とその仲間

実施日時：第1土曜日 10時30分～15時 *状況により開催日程・開催時間の変更あり

実施頻度(回数)：12回/年 *状況により実施回数・期間の変更あり

費用：参加費/300円 食費/400円

実施場所：神戸聖愛教会、神戸YWCA会館、その他

備考：スタッフミーティングは第1土曜日終了後、その他必要に応じて随時開催

②カフェもぐもぐ交流会

目的：若年性認知症についての啓発活動

内容：未定

対象者：若年性認知症当事者、家族、他団体、興味のある人

実施日時：未定

実施頻度(回数)：1回以上/年

実施場所：神戸聖愛教会、神戸YWCA会館、その他

③認知症サポーター養成研修(神戸市認定)

目的：認知症を学び地域で支えるためのサポーター養成

内容：神戸市認知症サポーター養成研修

講師：キャラバンメイト(神戸市認定)

対象者：興味のある人、ボランティア希望者

実施場所：神戸聖愛教会、神戸YWCA会館、その他

実施日時：未定

実施頻度(回数)：1回(90分)/年(6月頃)、費用は無料

備考：講座修了者にはオレンジリングが手渡される。

④その他

- ・カフェもぐもぐだより発行(年1回)
- ・情報収集とネットワークづくり(他団体交流・行政・研修会参加)

■ちやいやあらんど

【活動方針・活動目標】

- ・子育て中の家族支援、特に就学前の子どもをもつ母親の仲間づくり、リラックスできる場所づくりを支援する。
- ・参加者と共に親と子どもが楽しく集える場を創る。
- ・地域や社会を知り、つながるちやいやあらんどとする。
- ・分室での異世代交流、異文化交流を楽しむ。

【活動計画】

①通常オープンおしゃべり会

目的：リラックスしたり自分らしくできる居場所を作る。

内容：おしゃべりメインにお茶やお菓子・プログラムなどを楽しむ。

対象者：育児をしている母親

実施日時など：10時～15時

実施頻度(回数)：2回/月

実施場所：神戸YWCA会館

備考：親子1組につき参加費300円(別途プログラム費)

②手づくり布おもちゃの会「ぬいぬい」

目的：自分のペースで裁縫をしながら作品を作る時間を楽しむ。

内容：ボランティアサークルほたるさんの布おもちゃを作る。

対象者：特になし

実施日時など：10時～13時
実施頻度（回数）：1～2回／月
実施場所：神戸YWCA会館
備考：参加費 500 円／回 別途材料費

■弓の木歌の集い

【活動方針・活動目標】

弓木南市営住宅の高齢者を対象に、歌を通して生活の活性化と親睦を図る。しかし、市住側も神戸YWCA側も共に高齢化しているため、2022年度計画は未定。

■わいわい食事会

休会中

■わいわいデイルーム

【活動方針・活動目標】

- ・新型コロナウイルス感染予防に努めて、介護予防に資するプログラムを提供する。
- ・高齢者が、できるだけ長く、生き生きとした豊かな在宅での生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。
- ・神戸YWCAの他の事業、会員活動グループと交流することにより、多世代・多文化とのふれあいを提供する。
- ・地域の中で、利用者が安心して在宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉等の専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。

【活動計画】

目的：神戸市総合事業 地域拠点型一般介護予防事業（神戸市委託）

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりプログラムの提供を行い、昼食を提供することにより介護予防に資する活動を実施。

内容：・看護職、リハビリ専門職、管理栄養士、薬剤師、歯科衛生士の5種の専門職による介護予防講座（月1回）

- ・音楽療法士、健康運動指導士などによる介護予防プログラム（月1回）
- ・介護支援専門員、介護福祉士などによる情報提供（随時）
- ・健康体操、ゲーム、談話などのプログラム（毎回）
- ・ボランティア講師によるクラフト製作、書道などのプログラム
- ・昼食の提供

対象者：神戸市在住の65歳以上の高齢者

実施日時など：毎週火曜日10時～15時

実施頻度（回数）：1回／週

実施場所：神戸YWCA会館

■木曜カフェ

【活動方針・活動目標】

神戸YWCAの交流スペースとしての活用。会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごすことのできるスペースにしたい。

【活動計画】

目的：神戸YWCAの交流スペースとしての活用。会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごすことのできるスペースにしたい。

内容：飲み物の提供（紅茶・コーヒー・その他）。木曜カフェのつどい場を利用し、お話や映像、演奏する機会をもつ。

対象者：一般

実施日時：隔週木曜日（第2・第4）14時～15時30分

実施頻度：2回／月

実施場所：神戸YWCA会館

Ⅲ 多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）

「国際理解を推進し、多文化共生社会の実現を目指す事業」を中心となって実施していく。

神戸YWCA学院

■日本語コース

【事業方針・事業目標】

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う。

【事業計画】

①レギュラーコース

目的：短期集中型で日本語を総合的に学びたい学習者を対象にした1日3時間、週5日または週3日のクラス。日本で生活している、または生活する予定がある学習者を対象に、すぐに使える実用的な日本語のレッスンをを行う。日本語の構造、聞く、話す、書く、読む、を総合的に学習することで、実用的で正しい日本語を身に付けることを目指す。

内容：文法、会話、発音、文字などの総合学習

対象者：初級～上級

実施日時：2022年4月～2023年3月

実施期間：3学期制

5回／週（初級コース）・3日／週（中・上級コース）、各日3時間

実施場所：神戸YWCA会館

②プライベートレッスン

目的：学習者のレベルと要望に沿った授業を提供する。

内容：学習内容は学習者の希望に沿う。オンラインプライベートレッスンもあり。

対象者：個別レッスン希望者、ビジネス日本語の勉強の希望者など

実施日時：2022年4月～2023年3月

実施期間：10回／1クール、各回成人90分、子ども45分×2

実施頻度（回数）：随時

実施場所：神戸YWCA会館

備考：セミプライベートレッスン（2人～4人）あり。10回／1クール。各回60分料金設定あり。

③キリスト教関連日本語コース

目的：キリスト教に関連した日本語学習の場の提供

内容：一般日本語だけでなく、礼拝説教、聖書などの独特の表現や語句の指導など

対象者：中級（3人以上のグループから申し込み可）

実施日時：随時

実施場所：神戸YWCA会館、オンライン、派遣先

④日本語能力試験対策講座

目的：日本語能力試験の対策

内容：日本語能力試験に対応した、効果的な学習方法を指導する。

対象者：N3～N1

実施日時：2022年5月～6月、10月～11月

実施期間：全8回程度、90分／回

実施頻度（回数）：2回

実施場所：神戸YWCA会館

⑤兵庫県立神戸高等技術専門学院委託訓練事業「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」（予定）

目的：正式な日本語教育を受ける機会がなかった外国人（日本国籍含む）生活者が将来自立した生活を営めるよう、日本語と基礎的なビジネススキルのレベルアップを図る。

内容：就職に必要な正確な基礎日本語、面接時の日本語、ビジネスマナー、基礎的なITスキル、職場見学、職業人講話など（予定）

対象者：初心者向け（予定）

実施日時：2022年9月下旬～12月下旬（予定）

実施期間：3カ月（予定）、5日／週、各日9時30分～16時10分（50分×6コマ）（予定）

実施頻度（回数）：1回／年（予定）

実施場所：神戸YWCA会館

備考：受講者申込先などはハローワーク

⑥はっぴー・すくーる 神戸Y

目的：

a) ママパパの日本語クラス

子育て中およびこれから親になる日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）の方を対象に、出産や育児、日本社会における子育てに関する基礎的な日本語学習の機会を提供する。同時に、日本語が不自由なため地域で孤立しがちなママパパたちが互いの悩みや意見を交換し、支え合うセーフ・スペースおよびネットワーク・スペースの確立を目指す。

b) はっぴー・さぼーと

日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）児童・生徒を対象に、学校の勉強に必要な科目学習の提供と、居場所づくりを行う。

c) はっぴー・すくーる

外国人児童生徒の進路や進学をサポートを行う。

内容：a) ママパパの日本語クラス：出産や育児に関する基礎日本語学習の提供

b) はっぴー・さぼーと：学校教科学習のサポート、居場所づくり

c) はっぴー・すくーる：進路、進学相談。「先輩に聞こう」プログラム

実施頻度（回数）：a) ママパパの日本語 1～2回／月（年間12回予定）

b) はっぴー・さぼーと 原則1回／月（年間12回予定）

c) はっぴー・すくーる 4回／年（予定）

実施場所：a) 原則オンライン、b) c) 神戸YWCA会館／オンライン

⑦勉強に役立つ日本語クラス

目的：日本語を母語としない外国人児童・生徒（日本国籍を含む）の生活日本語と教科日本語を指導する。

内容：日本語指導、教科日本語指導。

対象者：日本語を母語としない13歳以上の外国人児童・生徒（日本国籍／成人も含む）

実施日時：2022年8月1日～12日（予定）

実施期間：2週間、5日／週、各日9時30分～16時00分（予定）

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：オンライン、神戸YWCA会館（予定）

⑧講師派遣 神戸市新規ALT日本語研修

目的：学校教育の現場でコミュニケーションに必要な日本語の研修

内容：新規に来日したALTへの日本語研修

対象者：新規ALT

実施日時：2022年8月（予定）

実施期間：3日間、4時間／日

実施頻度：1回

実施場所：神戸市施設／オンライン

⑨講師派遣 ショファイユの幼きイエズス会

目的：ショファイユ幼きイエズス会の研修に即した日本語教育の提供

内容：新規に来日した研修生への日本語クラス

対象者：ショファイユ幼きイエズス会の研修生

実施日時：2022年4月～2023年3月（予定）

実施期間：2日／週、2時間／日（予定）

実施場所：同イエズス会内／オンライン

■日本語教師養成コース

【事業方針・事業目標】

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師や日本語ボランティアを養成する。

【事業計画】

①夏期日本語集中講座（日本語教育実習）

目的：日本語教育を学ぶ大学生に教育実習の場を提供する。

内容：帝塚山学院大学、神戸女学院大学の実習の受け入れ

実施日時：8月1日～5日（予定）＊7月30日準備

実施期間：5日間

実施頻度（回数）：1回

実施場所：神戸YWCA会館

②日本語ボランティア養成講座

目的：日本語ボランティアの発掘と育成

内容：日本語教育の考え方を講義・演習で学ぶ。状況によってはオンライン開催。

対象者：日本語に興味がある方、日本語ボランティアをしてみたい方、現在ボランティアをしているが教え方が分からない方など。

実施日時：土曜日10時～12時30分 全5回

実施期間：①5月28日～6月25日（予定）②10月1日～10月29日（予定）

実施頻度（回数）：2回

実施場所：神戸YWCA会館

備考：日本語コースのはっぴーすくーる、はっぴーさぼーと、ママの日本語などへのボランティア補充へつなげられるように取り組む。

③日本語教師スキルアップ特別講座（オンライン）（仮称）

目的：教師経験がおおむね3年以下の日本語教師のスキルアップ

内容：日本語教師歴が浅い人を対象に、「漢字指導」等指導項目別の、準備授業や教案の書き方のポイント、クラス運営の流れ等を学ぶ。オンライン開催。

対象者：日本語教育に携わっている新人日本語教師など

実施日時：2回／年（5月、1月の予定）、2時間／回

実施場所：神戸YWCA会館

④「やさしい日本語」講師派遣

目的：日本人と外国人の共生ツール「やさしい日本語」の普及

内容：「やさしい日本語」の出前ワークショップ

対象者：国際交流協会、市役所窓口、日本語ボランティア教室、外国にルーツをもつ子どもの通う学校や保育園・幼稚園、自治会など

実施日時・期間など：随時

実施場所：派遣先／オンライン

⑤アドバイザー派遣

目的：日本語ボランティアのスキルアップと育成

内容：他団体において活動する日本語ボランティアへのアドバイスや指導を行う。

対象者：国際交流協会、日本語ボランティア教室など

実施日時・頻度など：随時

実施場所：派遣先／オンライン

■外国語コース

【事業方針・事業目標】

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応じたクラス・プログラム運営に努める。

【事業計画】

①レギュラーコース

目的：相互理解のための外国語をネイティブ講師から学び、コミュニケーションスキルを伸ばせる少人数のクラスを提供する。

内容：英語（初級～中上級3クラス）・韓国語（入門・中上級各1クラス）を実施

対象者：一般

実施日時：月～土曜日、10時30分～12時、11時15分～12時45分、13時30分～15時、18時30分～19時45分（計5クラス）

実施期間：年3学期制他

実施頻度（回数）：1回／週（12回、10回）

実施場所：神戸YWCA会館、オンライン

②プライベートコース

目的：個人または少人数グループのニーズに応じた形でフレキシブルな外国語のレッスンを提供する。

内容：英語等のプライベートレッスンを実施

対象者：一般、中・高生

実施日時：学習者のニーズにあわせて日時・講師を決定

実施期間：随時

実施頻度（回数）：原則1回/週（60/90分レッスン）、10回1クール

実施場所：神戸YWCA会館、オンライン

③カスタムコース

目的：学習者の目的に特化した内容でカスタマイズした外国語クラスを提供する。

内容：・All Together（海外帰国生など英語学習経験のある子どものための英語クラス。年少児～中学生対象、個々の希望に沿った形で英語を保持）

・シニア英会話

対象者：All Together：5歳～中学生、シニア英会話：一般、*原則として3人以上で開講

実施日時：All Together：土曜日、シニア英会話：火曜日10時30分～12時

実施期間：年3学期制

実施頻度（回数）：36回/年

実施場所：神戸YWCA会館、オンライン

④オフキャンパス

目的：他団体・学校・グループなどから外国語レッスンの業務を請け負う。

内容：・コープカルチャー宝塚（英語2クラス）

・兵庫県Dクラス（英会話1クラス）

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校

①外国語I 英会話（1年生1クラス）②外国語II 英語（2年生1クラス）

・関西労災看護専門学校（英語1年生1クラス）

対象者：一般、兵庫県職員、専門学校生

実施日時：コープカルチャー宝塚：木曜日、兵庫県Dクラス：木曜日、関西労災看護専門学校：月曜日
公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校：月・金曜日

実施期間：・コープカルチャー宝塚・兵庫県Dクラス：年間を通じて開講

・関西労災看護専門学校 2022年10月～2023年1月（後期）

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校

①2022年4月～2023年2月②2022年4月～10月

実施頻度（回数）：・コープカルチャー宝塚：30回/年

・兵庫県Dクラス：20回/年

・関西労災看護専門学校 27回

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校 ①56回 ②30回

実施場所：コープカルチャー宝塚、兵庫県職員会館、公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校、
独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校、オンライン

⑤特別講座

目的：外国語をコミュニケーションツールのひとつと捉え、言葉の背景にあるカルチャーへの理解を深めることで多文化共生の地域づくりに活かす。

内容：・「英語で聴く！」（TEDや映画を題材に、英語で解説）

・「英語で読む！」（英語の短編や日本文学の英訳版を題材に英語で解説）

・「世界のことば」（英語以外の外国語を少しかじってみる機会をつくる）

対象者：一般

実施日時：未定

実施期間：年間を通して実施

実施頻度（回数）：・「英語で聴く！」5回・「英語で読む！」3回・「世界のことば」15回程度

実施場所：神戸YWCA会館、オンライン

■文化教養コース

【事業方針・事業目標】

芸術・文化に触れ、エンパワメントされる講座を企画する。

【事業計画】

①ピアノレッスン

目的：ピアノを通して音楽を楽しむ。

内容：それぞれの目標に合わせたプライベートレッスン

対象者：一般（子ども～成人）

実施日時など：月曜午後～夜

実施頻度（回数）：1～4回／月

実施場所：神戸YWCA会館

②発声・歌唱レッスン

目的：ボイストレーニング・歌を通して音楽を楽しむ。

内容：それぞれの目標に合わせたプライベートレッスン

対象者：一般（子ども～成人）

実施日時など：月曜午後～夜

実施場所：神戸YWCA会館

③その他講座

目的：定期的な開講につなげるパイロットプログラムの開催

内容：単発プログラム

対象者：一般

実施日時など：未定

実施頻度（回数）／期間など：未定

実施場所：神戸YWCA会館、オンライン

■多文化共生ボランティア部

内容未定

V 活動共通事業

■運営委員会

【活動方針・活動目標】

- ・神戸YWCAは何を行う団体か、本質的なミッションの明確化と共有。
- ・その上で組織のあり方を協議し、しなやかで強く、安心して活動できる機構とする。
- ・ユース・ミドル・シニアのすべての世代が協働できる組織づくりを進める。

【活動計画】

①定例運営委員会

目的：活動方針・目標を達成するための議論と決定

内容：・会員活動関連の協議

- ・世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA、他団体からの要請および連帯など
- ・定期的な運営委員研修の実施

対象者：運営委員

実施頻度：12回／年

実施場所：神戸YWCA会館、状況に応じてオンライン含むハイブリッド開催も検討

②第103回定期会員集会

目的：神戸YWCAの会員が主体的に組織運営にかかわること、ならびに会員どうしの交流

内容：・2022年度活動報告と2023年度活動計画の承認

- ・新規運営委員と指名委員の承認

対象者：会員（会友、その他希望者も参加可能。ただし議決権はない）

実施日時：2023年3月11日（土）

実施頻度：1回／年

実施場所：神戸YWCA本館

③会員組織の評価と再構築

目的：・神戸YWCAのミッションに沿った会員活動のあり方の評価と改善

- ・会員組織への理解促進

内容：・活動メンバーからの意見収集（アンケートなど）

- ・会員組織の評価と改善案についての提案と共有（組織図や会費制・プロジェクト制等の検討、進捗報告会の実施など）

対象者：会員、会友、一般

実施日時：会員向けアンケート5月頃、報告会9月頃を予定

④4市YWCAとの連携

目的：4市YWCA（大阪、京都、名古屋、神戸）との情報交換や協働をはかり、会員活動をパワーアップする。

内容：4市YWCAとの情報共有や連携

対象者：会員

実施日時：随時

⑤世界YWCAデイ

目的：世界YWCAデイ（毎年4月24日）を通して、世界中のYWCAの働きを覚え、互いの活動を知り、応援する。

対象者：会員、会友、および一般

実施日時：4月

実施場所：オンライン開催

⑥つながるプロジェクト

目的：会員のエンパワメントおよび情報交換

内容：会員活動の情報を共有する「つながるメール」の配信。スピーディに配信するためにも配信頻度、配信内容などを検討する。

対象者：「つながるメール」は会員対象

実施頻度：随時／年

⑦ボランティア募集

目的：神戸YWCAの新しい仲間を募る。

内容：・世界にネットワークを持つ国際NGOである神戸YWCAの紹介。

・神戸YWCAの活動紹介、参加を希望する活動の紹介。

・神戸YWCAの会員制度の紹介。

対象者：初めて神戸YWCAで活動する人、活動したい人

実施頻度：随時

⑧日本YWCA主催「地域Yバーチャル訪問」準備

目的：全国地域YWCAの連携強化

内容：それぞれが企画した地域YWCA紹介をオンラインを通して全国に向けて発信する。
こどもいいんかいとの協働で内容検討の予定。

対象者：発信先は会員、会友など

実施日時：2023年2月

■キリスト教基盤委員会

【活動方針・活動目標】

神戸YWCAの活動に参加する全ての人が、キリスト教基盤を理解し、共有するための活動を推進する。

【活動計画】

①交流と広報

目的：YWCAにおけるキリスト教基盤を知り、共有するための取り組み

対象：会員およびYWCAで活動する人々

内容：・4市YWCAが合同で取り組んだ「神戸YWCAの大切にしている言葉」の共有と活用

・標語聖句を浸透するための広報（色紙掲示など）

・神戸YWCAの中で活動する人々との交流を通して基盤を伝える。

実施日時：随時

実施場所：神戸YWCA会館

②イースター関連プログラム

目的：会員等と共にイースターの意味と喜びを知る。

内容：未定

実施日時：未定 *今年のイースターは2022年4月17日（日）

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YWCA会館、その他

③神戸YMCA/YWCA合同祈祷週

目的：世界中のYMCA/YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈祷週とし、1904年以来毎年共に祈りの時を守っている。この1週間、YMCA/YWCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認する。

内容：合同祈祷週礼拝。期間中それぞれがプログラムを計画（1回～数回）
対象者：神戸YMCA会員、神戸YWCA会員、会友、および一般
実施日時など：2022年11月13日（日）～19日（土）＊礼拝は2022年11月15日（火）（変更あり）
実施頻度（回数）：1回／年
実施場所：神戸YMCA、神戸YWCA、その他

④神戸YWCAクリスマス

目的：会員がクリスマスの意味を学ぶ。イエスの誕生の喜びを届け、共に祝う。

内容：未定

対象者：神戸YWCA会員、会友、および一般

実施日時など：未定

実施場所：未定

⑤世界祈祷日

目的：世界祈祷日国際委員会が中心となり、世界中で教会の女性たちによって実施される。テーマに
そって共に祈り合い、キリストの愛を世界に広める。関係団体と連携する。

内容：礼拝（礼拝内容企画の担当団体の持ち回り）

対象者：神戸阪神地区キリスト教各教会教派・団体メンバーおよび一般

実施日時：2023年3月5日（金）予定

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：未定

VI 広報・ファンドレイジング

■機関紙編集委員会

【活動方針・目標】

会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸YWCAの活動を伝えるために持続可能な形で機関紙を発行する。

【活動計画】

①機関紙発行

目的：神戸YWCAの活動を広く伝える

名称：『神戸YWCA機関紙』

発行回数：6回／年（偶数月：4月、6月、8月、10月、12月、2月）

発行部数：1000部／回

発送対象：会員、会友、賛助員、他市YWCA、キリスト教会、関係団体

機関紙内容：1面/神戸YWCAの方針に沿ったオピニオン記事（内部3、外部3）

2～3面/活動報告・紹介、予告、連載

4面/活動予告・各センター報告・運営委員会・理事会報告など

②委員会開催と編集作業・発送

目的：機関紙発行を円滑にすすめる。

内容：編集企画・編集作業・発送

メンバー：機関紙編集委員

実施回数：編集委員会は年6回、編集作業は年24回（4回×6）、発送は年6回

③機関紙編集打ち合わせ（仮）開催

目的：機関紙について各センター担当者と打ち合わせを行い、情報提供や紙面づくりへの協力と連携強化

内容：機関紙内容や情報共有

メンバー：編集委員と各センター担当者

実施回数：2回／年（上半期・下半期）

④発行部数と発送対象の見直し

目的：適正部数の見直しと発行経費の見直し

内容：適正部数の検討、広告検討、機関誌の活用と連携など

実施回数：随時

■ファンドレイジング実行委員会

【活動方針・活動目標】

・会員活動の、持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。

- ・ファンド・広報について情報収集に努め、神戸YWCAを知ってもらう機会を増やす。

【活動計画】

①定例ミーティング

目的：マネージングの視野を持ち、持続可能なファンドレイジングを目指す。

内容：バザーおよびそれ以外にファンドとなりうる活動の検討

対象者：委員会メンバー

実施頻度（回数）／期間など：1回／月

実施場所：神戸YWCA会館（オンライン形式を含む）

②チャリティー・ドリップコーヒー

目的：神戸YWCAの活動資金を得るため

内容：チャリティー・ドリップコーヒーの販売

対象者：一般

実施頻度（回数）／期間など：通年

実施場所：神戸YWCA会館および通信販売

③はるいさんの天然はちみつ

目的：神戸YWCAの活動資金を得るため

内容：はるいさんの天然はちみつの販売

対象者：一般

実施頻度（回数）／期間など：通年

実施場所：神戸YWCA会館および通信販売

④コストコ商品販売

目的：神戸YWCAの活動資金を得るため

内容：コストコの商品の販売

対象者：一般

実施頻度（回数）／期間など：通年

実施場所：神戸YWCA会館

⑤その他物品販売

目的：神戸YWCAの活動資金を得るため

内容：ケニア紅茶、アドベントカード等の販売

対象者：一般

実施頻度（回数）／期間など：通年

実施場所：神戸YWCA会館

⑥ちくちく子ども手づくりの会

目的：手づくり品をファンドの広報に役立てる

内容：自由な発想のものづくり

対象者：会員、一般（子どもメイン）

実施日時など：未定

実施頻度（回数）／期間など：不定期

実施場所：神戸YWCA会館

Ⅶ 理事会

【方針・目標】

神戸YWCA中長期ビジョンを明確にし、安定的な財政構造改革を実施する。

【活動計画】

- ・各センター機能を実質的に動かし、神戸YWCAが持っている資源を最大限に活用することで、新事業を開拓する。
- ・既存事業の財政検討を継続して行い、課題解決を図る。
- ・分室活動の本館へのスムーズな移行を支援する。
- ・神戸YWCAの事業に関わる全メンバーが安心して活動していけるように、組織体制を再検討し、整える。

公益財団法人 **神戸YWCA**

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692
e-mail: office@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ
る平和な世界を実現する国際 NGO です。